

一般社団法人
島田建設業協会広報誌

wjst

vol. 141

平成26年10月1日発行



Zoom up インタビュー

農林水産省関東農政局

大井川用水農業水利事業所長 櫻庭 光一 氏

林野庁関東森林管理局

大井川治山センター所長 増田 茂 氏

勝間田川水門

現場紹介 言いたい放題

地域紹介・トピックス・防災日誌・協会だより



農林水産省関東農政局 大井川用水農業水利事業所長 櫻庭 光一 氏



【略歴】

平成21年4月 東北農政局阿武隈土地改良調査管理事務所長
平成23年7月 近畿農政局淀川水系土地改良調査管理事務所長
平成26年4月 関東農政局大井川用水農業水利事業所長

事業の説明をお願いします

国営大井川用水農業水利事業は、戦後の4
大田管農業水利事業の1つである国営大井川
農業水利事業で造成した施設を更新・整備す
る事業なので、まず前歴事業から説明します。
戦前の大井川には、12か所の農業用水の取
入口がありましたが、大井川は洪水のたびに
滯筋等が変動するのに加えて、取入口の作り
が粗末だったため、安定的に取水するのが難
しく、志太・榛原地域の農家はその維持管理
に多額の費用と多大な労力をつぎ込まざるを
得ませんでした。

一方、丘陵地である小笠地域は、大きな川
がなくすぐに枯れてしまうため、水の確保の
ため、500カ所以上のため池が作られました
が、それでも小笠地域の農家はたびたび干ばつに
悩まされました。

そこで、昭和22年から43年にかけて、志太・
榛原地域及び小笠地域の約1万1千haの農地
に農業用水を供給するため、国営大井川農業
水利事業が実施され、12カ所の取入口は川口
の取水口1カ所にまとめられ、神座の分水工
で左岸と右岸に分水され、大井川を渡る水路
橋やサイフォンを通じて、洪水に悩まされた
志太・榛原地域、干ばつに悩まされた小笠地
域に、安定的に農業用水を供給出来るよう
になり、維持管理の負担が大きく軽減されました。

現在では、農業用水の他、防火用水や親水
目的にも利用されていますが、完成してから
30年以上が経過し、多くの施設で老朽化によ
る機能低下が生じてきました。

また、水稲の早期栽培など地域の営農形態
の変化による用水需要の変化や周辺地域の開
発等による還元水の減少、ため池の改廃によ
り、安定的な水供給や適正な水配分が困難
となってきました。

そこで、施設の整備を行って、農業用水の
合理的利用、管理方法の改善と農業経営の近
代化・安定を図る大井川用水事業を平成11年
から行っています。

また、再生可能エネルギーに期待が高まる
中、用水路の落差工の改修に合わせて小水力
発電施設（伊太発電所）を設置して、維持管
理費の軽減を図っています。

事業の進捗状況はどうですか

大きな施設の整備は完了し、事業の進捗率
は約90%に達しています。

現在、小規模な地域用水路の改修等を主
に行っており、事業もあと残り3年で完了す
る予定です。

趣味や休日の過ごし方を教えてください

蕎麦を食べ歩くことで、最近では、地方新聞
社が発行しているそば名店本を片手に地域で
評判のお店や全国新そば会会員のお店を訪ね
ることで。

また、自分自身で蕎麦を打つこともあります。
その他に、日本酒が好きで、日本の風土や
気候、食文化を色濃く反映している無数にあ
る日本酒の中から好みの日本酒を見つけるこ
とです。静岡は魚がうまいので、魚料理に合っ
た地元のお酒を探しています。

休日は歩くことが好きで、以前、京都に住
んでいたときは、京都一周トレイルに挑戦し
ました。現在、こちらに来てからも、矢倉山
や千葉山などを歩いています。

座右の銘とか心情は

地域資源を有効活用した地域づくりです。

少子化、高齢化が進んでいく中で、水力や
木材などの持続可能な地域資源を有効に活用
して、地域外に出ていたお金が地域内に回り
新たな雇用や消費が生まれ、地域の活力が維
持されればと思います。

注1 兵庫県加古川、滋賀県野洲川、福井県九頭竜川

流域における国営農業水利事業
年間発生可能電力量・430万kwh/年（一般家
庭1,200戸分）

注2 CO₂排出削減効果約2,200トン/年（移
16万本が吸収する量）

注3 北は北海道から南は沖縄までの老舗的な95店が
加盟（静岡県内2店）
伏見稲荷を出発点に東山・比叡山を経て大原・
鞍馬、さらに西賀茂から高雄・清滝を経て嵐山・
苔寺に至る京都の歴史や文化も一緒に楽しめる
全長約70kmのコース、他にも京北エリアを一周
する全長約40kmのコースがある



インタ Zoom

林野庁関東森林管理局 大井川治山センター所長

増田 茂 氏

【略歴】

平成16年4月 関東森林管理局 技術指導官
平成22年4月 関東森林管理局 上席技術指導官
平成24年4月 関東森林管理局 大井川治山センター所長



インタビュー（梶山）

出身地とご家族は

出身は埼玉県の長瀨町というところで、現在は川根本町に単身赴任しています。家族は実母と妻と長女で神奈川県平塚市に住んでいます。

趣味等をお聞かせください

長く続いているのはゴルフでしょうか。20有余年のキャリアにはなりますが、90〜100あたりをうろうろしています。若い時にはスコアも気になりましたが、最近は健康のためと割り切って（あきらめています）。

大井川治山センターに赴任して、感じたこと等がありましたらお聞かせください

最初の印象は、事業エリアが広大だということです。静岡市葵区の大井川源流部41、742ha

川根本町の大井川支流榛原川地区1、890ha合わせて、43、632haの区域ですが、ここを対象として、地元の要望と静岡県からの要請により、民有林直轄治山事業を実施



しており、特に榛原川地区は、平成13年当センター発足と同時に直轄区域に編入された区域で、地元の皆様の期待の重さを感じているところです。

また、当センターは、川根本町の千頭にありますが、町の人たちも暖かく我々に接していただいていますし、とても住みやすいところです。

治山センターの業務について聞かせてください。未だに昔の営林署の概念が消えない人が多いのですが

大井川治山センターは、林野庁関東森林管理局の優先機関ですが、以前の営林署である国有林等を管理する森林管理署とは違い、大井川地区の民有林直轄治山事業を専門に実施する全国でも唯一の治山センターです。

業務はもちろん治山事業の実行で、現在、広大な事業地の中でも、緊急性の高い地区から優先的に森林への復旧に努めています。

また、治山事業に係る技術開発や普及啓発も業務の柱であり、特に、治山事業を国民の皆様を知っていただくことに努めており、その中でも、子供たちに森林や治山事業に関心を持ってもらいたいとの思いから、過日8月8日に地元の小学生を対象に、治山事業の現場を見学しながら様々な体験ができる「治山教室」を開催しました。

そして、ホームページのキッズページではイラストを使い森林の働きや治山事業について、子供たちに理解してもらえるように解説していますし、建設機械のコナーも設けていますので、工事車両好きの小さなお子さんにも楽しんでもらえるように努めています。

地域や建設業協会に望む事などありましたらお聞かせください

地域の多くの皆様に、治山事業や当センターの役割について理解していただきたいと思っており、JICAや大学の研究機関等の視察も受け入れています。

建設業協会の皆様も現場をご案内いたしますので、これから紅葉の時期でもあり、ぜひ機会を作ってお出かけくださればと思います。

また、最近では、地域の生涯学習等で現場見学に訪れてくれる団体もありますので、大井川流域の多くの方に治山の現場を見ていただきたいと考えております。



着手前



着手前



完成



施工中



コメント

本工事は、県道と現町道が交差し、交通量が多く商店や倉庫への出入りが激しいため、工程の調整に苦勞しました。

工事名	平成25年度(主)島田吉田線 防災・安全交付金(県道道路改築)工事(道路工その2)		
工事箇所	榛原郡吉田町神戸地内		
工期	平成25年10月25日～平成26年3月18日		
施工者	八木産業株式会社		
発注者	静岡県島田土木事務所		
現場代理人	長野 真久		
工事概要	施工延長	200m	
	卵形側溝	86m	
	自由勾配側溝	77m	
	縁石工	118m	
	取合道路嵩上工	1式	
	構造物取壊 舗装版破砕	2,755㎡	

現場紹介

完成



施工中



コメント

既設の石積みの護岸をかさ上げし、大雨時の増水による被害を防ぐ工事です。工事中、増水による被害もなく工事を進めることが出来ました。

工事名	平成25年度[第25-K3552-01号]一級河川大井川大井川中流域浸水対策工事(護岸工)		
工事箇所	榛原郡川根本町下泉地先		
工期	平成25年9月20日～平成26年2月14日		
施工者	株式会社 友田組		
発注者	静岡県島田土木事務所		
現場代理人	吉川 実		
工事概要	施工延長	75m	
	路体(築堤)盛土	890㎡	
	鉄線じゃかご工	37m	
	小口止め	2箇所	
	筋芝工	150㎡	
	コンクリート舗装	202㎡	
	下層路盤	197㎡	
	見切壁	23m	
	六脚ブロック撤去・据付	93個	

完成



施工中

コメント

工事箇所は地下水位が高く、バックネットの基礎を掘った際に湧水が多く大変苦労しました。



着手前

工事名	藤枝総合運動公園野球場整備工事	
工事箇所	藤枝市原地内	
工期	平成25年9月26日～平成26年3月20日	
施工者	株式会社 山田組	
発注者	藤枝市長 北村 正平	
現場代理人	松村 亘	
工事概要	グラウンド舗装工	13,470㎡
	バックネット工	1箇所
	防球ネット工	155m
	カウントボード	1箇所
	放送設備	1式

安心・安全な暮らしのために…

完成



施工中

コメント

大草池内に木デッキを施工する為に、池内の水をすべて放水しました。その際に軟弱地盤である事が確認でき、施工に必要な仮設計画を十分考慮し施工を行いました。



着手前

工事名	平成25年度地域用水環境整備大井川1期地区親水施設3工事	
工事箇所	島田市大草池内	
工期	平成25年10月1日～平成26年3月14日	
施工者	株式会社 小沢組	
発注者	静岡県志太榛原農林事務所	
現場代理人	西村 則彦	
工事概要	親水施設工事	1式
	木デッキ	1箇所
	遊歩道	1式
	防護柵工	174m
	脱色アスファルト舗装工	105㎡

言いたい放題



役人思考

最近読んだ週刊誌に、自動車の運転無人化は日本では20年前にほぼ完成していたが、国交省の役人の頑固な思考で阻止された。

現在諸外国で発売され、立ち遅れた日本の企業の損失ははかり知れない。と書いてあったが、本当に日本の役人思考はひどいと思う。

食等の安全は素晴らしい面もあるが、前例のない事になるとなかなか許可が下りない。大企業と官の研究は優先されるが中小企業の開発は全く採用されていないと言っても過言でない。

同じ日本の経済を支えているのだから平等に扱う思考はないのだろうか。

天下りもしかり、我々の監理技術者講習も数年前は1度の講習で良かったのに、今では2ヶ所の財団法人になっている。自分の事ばかり優先する思考では国民は今に怒りますよ。



「土砂災害の心得は」

8月に広島市北部を襲った土砂災害で多くの住民が被害にあった。土砂災害から身を守るために、何に注意すればいいのだろうか。自分の住んでいる場所が土砂災害の危険性があるかどうか、知らない人が多いのではないだろうか。一度、市町村が作製している「ハザードマップ」で確認してみることをお勧めする。

土砂災害には前ぶれがあることが多い。例えば、土石流の場合、流水の濁り、流木発生、川内の転石の音。がけ崩れの場合、湧水量の増加や落石の発生。地すべりの場合、亀裂、山鳴りや地鳴り。自力での観察、そして避難するタイミングを考えなくてはならない。一番いいのは、大雨が予想される場合は、最悪の事態を想定し、前もって避難することが大事であり「避難は明るいうち」が基本である。

そして土砂災害発生後は私達の出番である。しかし、その肝心な時に地元の川や山を知り尽くしている我ら建設従事者が被害にあったのでは、どうしようもない。何事も、判断は早めに正確に行って欲しい。私達は自分の家族や家も大事だが、自分の住んでいる地域も守らなくてはならない。私達の仕事は「住みよいまちづくり」なのである。



外国人労働者拡大…?

東京五輪が開催される平成32年までの時限措置とするのですから、目先の工事をこなすためということでしょうが

しかし我々業界とすれば長期的視野にたって、日本の高度な熟練の建設技術を継承し、職人を育成していくには10年20年の長期で一人前に育てていかなければよいものは作れません。目先の工事を外国人でも使って、やっつけ仕事でやればよいというものではない。

今、建設単価が高騰していると言います。しかしこれは今まで公共事業を減らし、デフレで民間工事も減り、一方で仕事のない業者に過度な競争をさせ、安く叩くだけ叩き、赤字受注させてきたため、必然的に労働者の単価が下がるだけ下がり、全く魅力のない業界になってしまった。それが今本来の価格に戻りつつあるだけであり、高騰と言えるものではない。さらに単価を本来の適正な価格に戻し、生活できるまともな給料が貰えるようになれば日本人も建設業に従事します。

問題は将来性です。国がコンクリートから人へとか、将来性のないことを言えば、その業界に若い優秀な人材が就職しないのは当たり前です。

日本の将来を見据えた姿もなく、グローバルという言葉と目先の経済成長のことだけで外国人労働者を増やすことはやめるべきで、日本人が住みにくい日本になること間違いありません。



過剰

最近、なんでも過剰なものが多すぎます。業界では、IT化、書類、役所との近づき難さなどなど、いつの間にか過剰が溢れているように感じるのは私だけでしょうか。

IT化をすれば合理化して生産性があがると大義名分を掲げ、IT化を推し進めました。企業は多大な経費を掛け社内をIT化することになり、パソコン、ソフト、プリンター、などの最新機種への変更。しかもほぼこの業界用だけのIT化の為、選択肢がすくなく維持費だけでも相当なもの。IT化は、本来、今まで人が時間をかけていたものを短時間でやってくれて、人がほかの仕事をいくつも兼務することが出来ることでコストが下がり合理化出来るはずなのに、書類作成の為に、逆にほとんどパソコンの前から離れる事が出来なくなり、不合理化。あ一手作業の時代のほうが良かったなんて思ってしまう始末。

書類も年々、検査を受けるときの厚さが増してきているのは気のせいでしょうか。書類が分厚く中身が細かければ細かいほど、良くやっていますねとお褒めの言葉を頂けます。本来、現場の仕上がりが一番と昔の人に教わってきたのに。お役人さんもそうだったはず。。

なんか、本質的に間違っている様な。。。。

それと、もうすでに現場はお役所と企業と一緒に協力して作る時代は終わったのかな。現場もそう、なんでもそうですが、協働作業、一緒に作る為には、まずは人間関係構築が必要なのですが、役所にはベルリンの壁ならぬ、役所の壁が出来ています。東西冷戦なみの企業と役所の関係。あー過剰です。世界の情勢を語る前に、身近な関係をどうにかしないとですね。おしまい。

地域紹介

林野庁関東森林管理局 大井川治山センター

静岡県榛原郡川根本町千頭950-2
TEL 0547-59-3344 FAX 0547-58-7010
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/tisan/index.html>

今回の地域紹介は、大井川治山センターが民有林直轄治山事業を実施している、大井川上中流域です。

ここは、南アルプスの雄大な自然が楽しめる場所として多くの人々が訪れる地域ですが、また、たくさんの崩壊地（山崩れ）が多く存在する地域でもあります。

大井川に接して暮らしていても、意外と知られていないところも多いかと思しますのでここで紹介します。

大井川は、南アルプスの3km級の山々に源を発し、静岡県のほぼ中央部を縦貫して駿河湾に注ぐ流域延長168km、流域面積1,280km²の大河川です。源流部一帯は、間の岳、塩見岳、赤石岳等の名峰がそびえ、国立公園や県立公園等に指定されるなど豊かな自然を誇る一方で、複雑に断層が交錯する地質条件ゆえに侵食が著しく進行し、山地荒廃が進んでいます。

昭和30年代以降に電源開発事業や林道網の整備の手が入るようになると、急速に開発が進み、これに伴って当該地域に対する環境保全への人々の関心が高まったことから、林野庁東京営林局（現関東森林管理局）は、昭和41年に当該流域に散在する荒廃地を復旧し、安全で安心のできる豊かなくらしの実現を目指して民有林直轄治山事業に着手しました。

有史以来、洪水等の多発地帯であった大井川流域も、ダム等の建設により近年では洪水による災害が減少しつつあります。しかし、大井川上・中流域の水源かん養機能、林地及び流域の保全等を森林の維持・造成という手段により確保する治山事業は、環境に対する社会の要請が高まる中で益々重要となっており、当該地域における治山事業の一層の推進が求められています。



管轄区域の概要

大井川治山センターの管轄区域は、静岡市葵区北部に位置する大井川源流部、及び川根本町の大井川支流榛原川地区を合わせた区域を対象としています。

対象面積

大井川上流部	41,742ha
大井川支流榛原川地区	1,890ha
合計	43,632ha



褶曲、節理が発達した地質

森林の状況

直轄区域は、水平的にみると温帯南部に位置しますが、標高が650～3,000mと広範囲にわたっているため、垂直分布では低山帯から高山帯に及んでいます。

森林限界は標高2,500～2,800mで、それ以上の標高域では、ハイマツなどが分布する高山帯（寒帯）となります。その下の亜高山帯（亜寒帯）では、シラベ、トウヒ群落及びダケカンバ群落が見られます。さらに、その下には、ブナ・ツガ・シオジ等の温帯林が広がり天然更新によるシデ類が繁茂しています。



大井川流域の横断面模式図

「優れた技術力」や「地域への貢献度」などが高く評価されました。

各種表彰を多数の協会員が めでたく受賞!!

静岡県が発注した土木工事等で、優れた成績を上げた優良工事や優良技術者等の表彰式が開催され、当協会員が多数受賞しました。
おめでとうございます。

静岡県交通基盤部 優良建設工事等部長表彰

7月25日(金)

於 男女共同参画センター・あざれあ

・優良工事(島田土木事務所)

(株)グロージオ

・優良技術者(島田土木事務所)

曾根 律 (株)橋本組

・優良技術者(志太榛原農林事務所)

新貝 清 (株)グロージオ

・安全工事(島田土木事務所)

(株)橋本組

島田土木事務所長表彰

8月8日(金)

於 島田市金谷生きがいセンター

(夢づくり会館)

・優良工事

(株)梶山組、共和建設(株)、大河原建設(株)

・優良技術者

石田收男(株)橋本組)、立林和樹(株)

グロージオ)、杉本 昭(大石建設(株))

・地域貢献

(株)藤原組



志太榛原農林事務所長表彰

8月8日(金)

於 島田市金谷生きがいセンター

(夢づくり会館)

・優良工事

(株)加藤組

・優良技術者

西村功一(株)柳澤組)、坂本将文(株)梶

山組)、鈴木正憲(共和建設(株))

平成26年度 静岡県優秀施工者知事褒賞

建設現場で働く優れた建設技術、技能労働者に贈られる知事褒賞を、今年度は当協会から2名の方が受賞され、9月19日に開催された「建設産業構造改善推進のつどい」の席上で表彰されました。
・受賞者



片川 正
(大河原建設(株))



小柳津佳久
(岡村建設工業(株))

平成26年度 日本道路協会会長表彰

道路愛護、環境の整備に多年にわたり献身的に精励し、顕著な功績があった道路功労者に贈られる日本道路協会会長表彰を、今年度は当協会から1名の方が受賞され、8月27日に開催された「道路功労者表彰式」の席上で表彰された。
・受賞者



岡村 昌
(岡村建設工業(株))



労働災害「ゼロ」を目指して安全大会開催

建築防島田分会は、建築防島田分会は、7月2日(水)に島田市夢づくり会館において、島田労働基準監督署長や島田土木事務所長などの県の事務所長を来賓としてお招きし、「平成26年度島田地区建設業労働災害防止安全大会」を開催しました。

最初に分会員から募集した安全標語の優秀作品が表彰され、続いて島田労働基準監督署の小坂光輝第二方面主任監督官の「建設業の労働災害防止について」として講演、山本利彦防災委員長の労働災害防止研修が行われ、続いて出席者全員(220名)が安全の誓いを唱和しました。

この後、島田土木事務所出口遵太郎検査監を講師に建設工事安全講習会を併せて開催しました。



島田工業高校生のインターンシップ実施

島田工業高校2年生の建築科8名、都市工学科8名の生徒が、7月28日(月)から30日(水)までの3日間、会員会社4社でインターンシップ(建設現場実習・就業体験)を実施しました。

参加した生徒は、猛暑の中でベテラン技術者の指導のもと、測量などの作業に積極的に取り組み、前向きな姿勢がうかがえました。ご指導いただいた皆様にお礼申しあげます。



(株)グロージオ



(株)橋本組



(株)山田組



大河原建設(株)

207名が出席して「土木技術者研修会」を開催

土木・建築委員会は、島田土木事務所、焼津漁港管理事務所、御前崎港管理事務所、及び志太榛原農林事務所と共催で、8月8日(金)に島田市金谷生ぎがいセンター夢づくり会館で土木技術者研修会を開催しました。

最初に静岡県工事検査課須藤検査監が「工事の安全対策について」、続いて、島田労働基準監督署の小坂第二方面主任監督官が「建設工事における労働災害の事例と防止対策について」講演し、最後に静岡県中部危機管理局の加畑技監が「静岡県第4次地震被害想定(第二次報告)について」と題して講演を行いました。



親子現場見学会開催

小学生に建設業を知ってもらい、将来は建設業界で活躍してもらうために毎年開催している「親子現場見学会」を今年も8月1日(金)に開催しました。

今年、大津波から浜松市内の住民の生命と財産を守るため、宅地の浸水面積を約7割少なく、宅地の浸水深2m以上の範囲を97%少なくすることを目的に、県が、民間企業や市民等の募金を基に砂丘と防災林を活用し、浜名湖今切口から天竜川までの17・5km、標高13mの高さの防潮堤の整備に着手した「浜松市沿岸域防潮堤整備工事現場」を見学しました。前年度に完成した試験施工区間の土砂

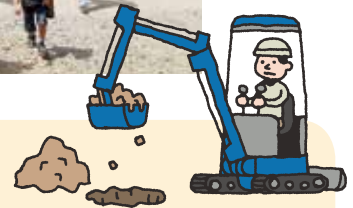


とセメントを混ぜて固めたCSG工法による堤体の天端では、CSG部と盛土の部分の部分をハンマーでたたいて、音の違いを実感しました。

その後、本年度から本格的に着手した施工区間や土砂とセメントを混ぜるための大規模なプラントなどを見学しました。

午後からは、浜北森林アスレチックにおいて、猛暑の中40種類の木製アスレチックを楽しみました。

お世話になりました浜松土木事務所沿岸整備課の皆さん、ありがとうございました。



防潮堤を見学して

中森 倅佑



ぼくは、8月1日に防潮堤を見学しました。とても大きかったです。ぼくは、17キロの防潮堤を造るのに、土砂はプール500杯分だと思っていましたが、実際は、5,555杯分だと聞いてビックリしました。そして、そのでき上がった防潮堤が、宅地の浸水面積を約7割少なくして、しかも、宅地の浸水深2メートル以上の家を97パーセント

少なくするなんて思いもしませんでした。

このまま、工事を進行させている間に津波がこないといいです。

又、完成した後も、もし、津波がきたとしても、防潮堤が少しでも、ひ害を防いでくれればいいと思います。(原文)

楽しく大井川を学ぼう！

「川まつり」開催

島田土木事務所や島田市、藤枝市など大井川流域の市町主催による第16回大井川「川まつり」が、8月22日(金)に島田市民総合施設「プラザおおるり」で開催され、340人を超える児童と保護者が来場しました。

子ども達は、大井川の生き物や発電の仕組み、大井川を守る森林や飲み水など、生活とのつながりについて勉強しました。



当協会でも土木・建築委員会が、島田土木事務所川根支所と合同で笹舟の作成指導を行い、大井川の模型に流して楽しむとともに、スーパースポーツやキャラクターボールすくいなどで楽しみました。

また、協会事業の活動の様子を写真パネルで紹介、PR用うちわの配布など、島田建設業協会のPRに努めました。



猛暑の中、会員総出で

「道路愛護」に取り組む

8月の「道路愛護月間」は、市町や住民、ボランティアが参加し、安全で快適な道路環境を確保することを目的に道路愛護運動が展開されています。

当協会においても、今年も7月から8月にかけて会員総出で、道路除草やカーブミラー・ガードレールの清掃に取り組みました。

猛暑の中、大勢の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。



参加会員数	55社
参加人数	299名
(会員外含め)	431名



災防日誌

災害防止への取り組み

牛尾実験所跡

新東名高速道路近くの大井川のほとりに、海軍牛尾実験所跡があります。

戦時中に強制労働で働かされ、安全面を無視し能率本意でつくられ、途中、失敗もあり責任をとるために自ら命を絶った人もいたということでした。

あるコンサルタント会社から依頼されて、その実験所跡の清掃作業を重機とクレーン車で延べ16日間に渡りさせていただきました。

金谷に生まれて59年の歳月が経ちますが、恥ずかしながらこのような遺跡があったことを初めて知ることができました。殺人光線の研究という性質上、あまり公にしなかったのかどうかわかりませんが愕然とした気持ちになったのを思い出します。

この電磁波の研究がのちの電子レンジ等に役立っているということが唯一救われた思いです。

さて、この施設の内容はさておき、私としてはどうやって建設したのかという方が興味があり、聞いてみたところ強制労働で山を切り開き資材を担ぎあげて、昼夜通して作業をしたそうです。

当然のように当時は重機などなかったので人力、馬力施工だと思いが、工事数量として、地山を20,000㎡、コンクリート現場練りを200㎡くらい、あと丸鋼も見えているので鉄筋、木材等かと推測されます。

現在ならば工期300日くらいで可能かなと思いますが、どのくらいの期間がかかったのか、結局完成前に終戦になりそのままになってしまったようです。

その当時、「安全第一」という言葉があったかは知りませんが、戦時の流れの中で命の尊さが叫ばれてきて、今まさに「安全第一」が、日本の中で当たり前になってきました。

当たりの「安全第一」の言葉の歴史を残すためにも、隣接で施工されている平成の瀬替えで無くなってしまわないように遺跡を残し、「安全第一」を再認識したいと思いました。



安全パトロール時の写真

熱い夏が

過ぎて

流れ

日本中が沸いたワールドカップから一ヶ月後、サッカーに負けじと今年も夏の甲子園が各地方からそれぞれのドラマと感動を胸に夢舞台へ強豪校が集結し、全国各地を盛り上げてくれた。

我が静岡県代表の静岡高校は善戦むなしく初戦敗退だが県民に夢と勇気を与えてもらったのは記憶に新しい。実は私も25年前は夢舞台に憧れた高校球児であった事はどうでもいとして、今はただの野球好きの親父である。

「今の子は!？」何て言葉を時々耳にするが、球児達のコメントによく「スタンドで応援してくれる仲間の為に」とか「最後まで諦めずに」何て言葉を聞くが25年前に白球を追うのが一杯だった私には想像つかないくらい、心技体が鍛えられ必要とされる時代になったのか!？と思うのは私だけではないはずだ。

約17万人と言われる全国の高校球児たち。鍛えられ、磨かれた心を胸にこれからの日本の良きリーダーになってもらいたいと野球好きの親父は願っています。「感動をありがとう」

T・Y

協会だより ～協会のうごき～

●理事会

- 第3回理事会 7月2日(火) 金谷夢づくり会館
- ・土地賃貸契約書に関する用途の一部変更について
 - ・県建設業推進会議の会費納入について
 - ・県建設業協会第3回理事会の概要について
- 第4回理事会 9月9日(火) 当協会
- ・退会届の受理について
 - ・退会した会員の表彰(特別功労記念品)について
 - ・県建設業協会第4回理事会の概要について
 - ・常設委員会活動報告について

●正副会長会議

- 第4回会議 7月2日(火) 金谷夢づくり会館
- ・第3回理事会提出議案について
- 第5回会議 9月9日(火) 当協会
- ・第4回理事会提出議題について

●総務委員会

- 中部地方整備局静岡河川事務所との意見交換会の開催
8月20日(水) 静岡河川事務所2階会議室
- ・出席者 静岡河川事務所長、副所長3名
正副会長、山田理事、山本理事、事務局

●広報委員会

- 第4回委員会 7月18日(金) 当協会
- ・広報誌VOL.141号の企画
広報誌VOL.141号 取材 8月6日(水) 大井川用水農業水利事業所長インタビュー
- 第5回委員会 9月3日(水) 当協会
- ・広報誌VOL.141号の校正
- 第6回委員会 9月10日(水) 当協会
- ・広報誌VOL.141号の最終校正

●労務委員会

- 親子現場見学会の開催 8月1日(金)
- ・浜松沿岸域防潮堤整備工事現場(浜松市)、うなぎパイファクトリーの見学及び浜北森林アスレチック

●土木・建築委員会

- インターンシップ事前研修会
7月8日(火) 島田工業高校生 16名
- インターンシップの受け入れ
7月28日(月)～30日(水) 3日間
- ・島田工業高校生 16名(都市工学科8名、建築科8名)
- 平成26年度静岡県交通基盤部優良建設工事等表彰(所長表彰)及び土木技術者研修の開催 8月8日(金)
- 島田市金谷生きがいセンター 夢づくり会館
- ・参加者 207名

- 大井川「川まつり」への参加
- ・8月22日(金) プラザおおるり
協会のPRと笹舟づくりの指導

●環境・災害対策委員会

- 第2回環境・災害対策委員会 7月14日(月) 当協会
- ・緊急家畜処分業務協定に基づく県中部家畜保健衛生所との意見交換について
 - ・静岡県交通基盤部総合落札方式における災害時事業継続計画(BCP)申請状況について
 - ・今後の検討課題について
- 道路愛護運動への会員参加 7月9日(火)～8月31日(土)
管内全域
- 静岡県島インフルエンザ防疫演習(埋却用地掘削作業の視察)への参加(雨天のため、10月29日(水)に延期予定)
- ・平成26年9月24日(水) 富士宮市県畜産技術研究所
地震防災訓練
 - ・情報伝達訓練 8月27日(水) 全会員
 - ・災害応急対策協力者の出動要請・応諾訓練
8月26日～29日 島田土木事務所
8月28日 焼津漁港管理事務所
8月20日・27日 御前崎港管理事務所
8月28日 静岡空港管理事務所

●建災防島田分会

- 島田地区労働災害防止大会
7月2日(水) 島田市金谷生きがいセンター 夢づくり会館
参加者 220人
- 安全パトロール
- ・第3回 7月23日(水) 5地区
 - ・第4回 8月26日(火) 5地区
 - ・第5回 9月18日(木) 5地区
- 創立50周年記念全国建設業労働災害防止安全大会への参加
- ・9月24日(水)～25日(木) 東京国際フォーラム(東京都)

●退会者名のお知らせ

下記の方が退会されました。

会社名	代表者名	退会日
㈱薬科組	薬科 高夫	平成26年7月16日

会員数 56社(平成26年9月30日現在)



【表紙解説】 勝間田川水門

勝間田川河口に、平成8年度から17年をかけ、予想される東海地震による津波被害を軽減するため、水門が整備されました。